

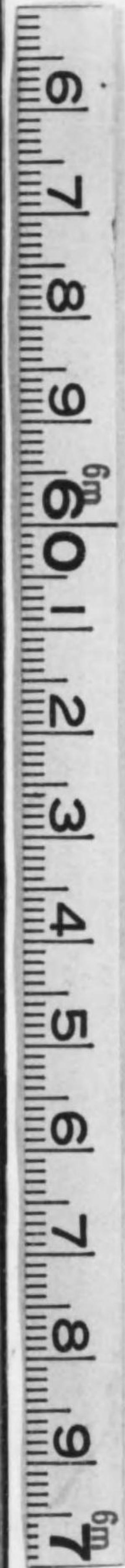
特 247

427

昭和八年三月

南洋事情梗概

拓務省拓務局



始



特247
427

目次

南洋の地域廣袤人口……………一

南洋土人の聯想……………二

氣象狀況……………三

動植物……………五

南洋の天惠……………八

南洋の華僑と我が貿易……………九

南洋渡航……………九

風土病……………一

生活費……………一

比律賓……………二



蘭領東印度	一五
爪哇	一五
スマトラ	一六
蘭領ボルネオ	一七
セレベス	一八
蘭領ニウギニヤ	一九
英領馬來	二〇
馬來半島及新嘉坡	二〇
英領サラワツク	二二
英領ブルネイ	二三
英領北ボルネオ	二三
暹羅	二四
佛領印度支那	二五
渡航準備	二七

旅券	二七
健康診断證明書	二七
服装	二八
携帶品	二八
言語風習	二八
渡航費	二九
長崎移住教養所	二九

南洋事情梗概

南洋の地域、廣袤、人口

米領比律賓 蘭領東印度（爪哇、スマトラ 蘭領ボルネオ セレベス 蘭領ニウギニア）英領馬來 サラワク ブルネイ 英領北ボルネオ 暹羅 佛領印度支那の諸地方を總稱して南洋としておる、之に對し、我が委任統治のマーシャル カロリン マリアナ等の諸群島（南洋廳管下）を俗に裏南洋と云ふており前記南洋とは明らかに區別されてゐる。

南洋諸地方の廣さは三百七十七萬平方キロ米（一平方キロ米は約我が百町歩）で我が本州、北海道、四國、九州を合した總面積三十八萬平方キロの約十倍に當る譯である、人口は一億一千萬人で一平方キロ當りにすれば二九人の密度である。之を我國の一六九人、和蘭二四五人、英國の一八一人に比較すれば甚だしく密度稀薄と云ふ可きである。

尤も之れは南洋全体の平均であるから其中には、瓜哇の如き一平方キロ三一五人と云ふ世界一の人口密度を有する處があるかと思へば、一方には蘭領ニウギニアの如く一平方キロ〇・八人と云ふ一人にも當らぬ處もあるのである。

南洋土人の聯想

南洋土人と云へば如何にも瘴猛な野蠻未開の人種の怪奇な姿を聯想するけれども、土人は土着の人即ちネーチブであつて何にも野蠻未開人を意味してゐるのではない、一部には野蠻未開の種族も残つて居るけれどもそれとても恐る可きものでなく、まして喰人種などは全く異り寧ろ概して親しむ可き種族である。皮膚の色は概して黒く、其上嚙み煙草にも比す可き檳榔樹の實をシレの葉に包んで嚙み、爲めに口邊赤く血を吐くが如くに見えるので一見瘴猛に見えるけれども目に馴れてはそれも何んでもない。南洋中でも爪哇、暹羅、佛領印度支那の如き好く開化しており、殊に爪哇のボルブドール、佛領印度支那アンコールワットの佛蹟に表はした彼等祖先の壯麗巧致の工藝

美術或は優雅な爪哇更紗に於ける爪哇人の技藝を見ては古くより彼等に固有の文化があり、一概に南洋土人として蔑視し去る譯には行かぬのである。

氣象狀況

南洋各地は地理的に云つて大体回歸線内に在つて所謂熱帶圈内に含まれて居る、一
体南洋と云ひ熱帯と云ひ乃至は赤道直下と云へば如何にも暑熱堪え難きかの感を與へる、然し之れは誰れしも實際に行つて見て想像を裏切られる處であつて、決して我が國の夏以上に暑い事はなく、只暑さの時季が四季を通じて續くと云ふ丈けである。例へば赤道直下とも云ふ可き北緯一度餘にあるシンガポールは年平均温度八〇度六分であつて、最高と雖九三度位最低七〇度位である。又爪哇の首都バタビヤは最高八六度最低七二度平均七九度であり、更に爪哇の高原地帯海拔二千數百尺の處にあるバンドンでは最高八二度最低六五度平均七二度と云ふ事になつて居る。
標高が高くなるほど氣温は下りマニラから北に百七十餘哩を距つる海拔四千七百尺

のバギオでは平均氣温六十五、六度であり馬來半島の中央にあるカメロン高原のタナ
ラタでも略ぼ同様である。

赤道から離れるに従つて一ヶ年最高最低の開きが多くなり比律賓マニラ、佛領印度
西貢、暹羅盤谷の如き最高氣温は寧ろシンガポールより高いけれども、それとて堪え
難いほどでなく日本の盛夏に比す可きである。

赤道に近いほど四季の變化が無くなるが、總じて熱帶地方であるから常夏常緑の國
である。少し高原地帯に行けば常春常秋の國である。四季の變化がないので單調であ
るが屢々車軸を流す様な豪快なスコール(驟雨)があるので其御蔭で暑氣も忘れ單調
な景色が調和され氣持を清新にする事が出来る。

南洋ではよく頭からジャブ／＼水を浴びる、馬來ではマンデイと云つて居るが、年中
寒氣で皮膚が引縮ると云ふ事がないのでかくして人工的に皮膚を引縮める様にして
るのであろう。南洋各地により其時季は異なるが雨期と乾期とがある。雨期と云つて

も日本の入梅を聊想しては當らない。ジメ／＼と永く降りつゞくのではなく雨の回数
が頻繁になると云ふ丈けである。だから、日本の入梅の様に氣持の悪い事は無い譯
である。

動物

南洋と云へば到る處猛獸毒蛇が横行して近寄り得ない様に想像する向きもあるが認
識不足と云ふ可きである、蓋し旅行記や視察談が往々にして讀者や聽衆の興味をそ
るに急にして爲めに怪奇特異の事象のみを聲を大にして叫ばるゝ爲めではないであら
うか。

南洋各地に鱷が棲み、英領馬來やスマトラには虎が嘯き、ボルネオや馬來には野象
が居るけれども實害は甚だ稀である。

英領北ボルネオの原始林に入入しても野象の排泄物の堆きを見る事屢々あつても野
象の姿は遂に見ず、馬來のゴム園内で虎の足跡を見る事往々にあるけれども實際遭遇

六
する機會は殆ど無い處を見ると話と實際とは大分かけはなれて居り注意さへして居れば之等の居る處でも被害を免れ得るのであり、之が爲に企業を脅かさるゝ様な懸念はない。

蛇の如き稀に大蛇の捕獲を見るけれども山野を跋渉して蛇に逢ふ度数はむしろ日本の山の方が多いのである。

珍しいものとしてはよく天井や壁にかゝつてキ、と鳴くヤモリや、ゲツコウと高らかに鳴く月幸、草原に牛とまぎらう牛蛙等であらう。

海に捕れるものでは日本の海産と殆ど同様で只味が美味である。

尤も椰子蟹の如き珍味もある。

果物では王と云はるゝドリアン、女王と云はるゝマンゴスチンを初めマンゴー、パイヤ、バインアツプル、バナ、等、日本人にお馴染のものから珍らしいものに至るまで中々豊富である。ドリアンの如きは臭氣人の鼻を蔽はしめ初めは如何なるイカ物

食でも手出し兼るが、一度味へば其美味忘れ難いと云ふ一種の魅力を持つて居る果物でありマンゴスチンの萬人向きなものと違ふ處である。又花には蘭の各種があり、とり／＼の花、葉の形、香、色愛す可きものがある、其方に趣味を持ち蒐集培養する人は日本から訪ふ人をして垂涎措く能はざらしめるのである、心掛次第では熱帯生活を單調無味たらしめない許りでなく却て趣味豊かな生活を送り得るのである。

利用厚生植物としては、ゴム、ガタベルチャ、ゼルトン、椰子、油椰子、サゴ椰子、珈琲、カ、オ、茶、マニラ麻、シザル麻、キナ、コカ、カボック、棉花、甘蔗、胡椒、香料植物、キヤツサバ、トバ、木材、籐、コパール、ダマール等である。

南洋の天恵

南洋は日光と熱との恵み多く降雨概して順を得其上、比律賓呂宋島以外では颱風暴風の虞れが無い。

無人の沃野と相俟つて農・林産業上、天恵豊かなりと云ふ可きである。畜に農・林

産業許りでなく石油、錫、鐵等の鑛業に於ても漁業に於ても天然の資源豊富である。然し斯くの如く天然資源は豊富でも勞力の供給が思ふ様でなければ實の持ち腐れの感があるのであるが南洋中で爪哇の如きは人口稠密で國外移出を計つて居り、現に盛時にはスマトラ島に四十萬人近い爪哇人の出稼勞働を見たほどであり、一面五億の人口を有する支那、三億の人口を有する印度が近くにあつて南洋出稼勞働を供給してくれるので勞力の供給には事欠かぬのであるから、天恵の外に地の利、人の和を得て居ると云ふ可きである。南洋に於て之等諸産業の興隆した原因には上記の外更に土地を開放し外資を歓迎した政策よろしきを得た事に歸せねばならぬ。尤も佛領印度が外人土地所有を制限し比律賓が土地法を制定してモットく發展し得可き土地産業の發展を抑えて居るのは別である。

南洋の華僑と我が貿易

華僑即ち南洋に於ける支那人の勢力は驚くべきものがある、暹羅に百五十萬人。英

領馬來に百九十萬人、蘭領東印度に百萬人、比律賓五萬人其他で南洋全體を通じ五百萬人を超ゆるであろうと云はれて居る。我が日本人が僅に三萬五千余人であるのとは同日の談ではない。従つて彼等は商業に農林業に鑛業に工業に而して各種の勞働に従事し南洋に於ける經濟生活上大なる勢力をもつて居るのである。殊に大小の商業に於て其勢力を張つて居る、従つて我が對南貿易が歐洲戰爭以來一大發展を遂げ輸出総額二億數千萬圓を算するに至つたけれども之れが配給に従事するものは主として支那人であるので往々彼等のポイコツトに脅かされ損害も尠からざるものがあつたのである。それ故我國民としては單に農林、鑛、漁等の産業に従事する者許りでなく、小賣商、小工業者等も之れと相並んで産業開發に貢献すると共に我對南貿易の發展に盡すべきである。

南洋渡航

南洋各地とも資本を持ち込む企業家の方は相當歡迎して呉れるが資本を持たぬ勞働者

は、勞働力がむしろ過剰の處もあり少ない地方でも支那や印度から低廉な勞力が豊富に供給されるといふ關係にあるので腕のみを資本とする移住は大して歓迎されない。此點はブラジルの邦人移住者が彼地で歓迎されるのと異なる點である。一言にして言へば各方面とも契約移民として團體的の渡航は不可能であるが自由移民としての渡航は可能である。此點は南洋移住の特色であり見方によれば優れてゐる所でも謂へやうに従つて小商工業といつた方面に支那人と競争して行く覺悟があれば相當之が發展に盡し得る餘地がある様に思はれる。又農林業も仕事そのものは有望な事業が多いが何分昨今の不況の爲めに、大小の企業家が苦心慘情して居る際であるから先づこれに打撃つ覺悟が第一である。漁業の方は先輩を頼つて指導を受けるといつた方法が良からうと思はれる。

風 土 病

マラリヤ、デング熱、アミーバ赤痢等であらう、マラリヤは養生よろしきを得れば

免れ得可く、罹つても治療の法はある。デング熱は一週間か十日で平癒し、そう恐ろしい事はない。アミーバ赤痢は普通の赤痢よりシツコク根治が捗々しくなく、之れが豫防には生水を飲まぬ様注意す可きである。

生 活 費

日本の食物をなつかしみ松茸を食ひたいの筈を欲しいのと云へば生活費も嵩むが、土産のもので間に合はして行けば日本と生活費は變らずそれで何等不自由はない。只常夏の國であるだけに衣食住の内の衣と住とは至極簡單に出来るので總じて却つて安くつくと云へよう。

以上を以て南洋について概説を試みたから次ぎに各地毎にかいつまんで概況を述べるところとしよう。

比 律 賓

七千余りの島嶼から成り立つて居り其内一方哩以上の島が四六四個と云ふから小

い島々の多い事がわかる。總地積二九六、〇〇〇平方キロで我が朝鮮、樺太、臺灣を併じたものより稍々大きい、一平方キロ四二人の密度になるが、早くから開けたセブ島は二二五人であるのにダバオ州の如きは六人余りに過ぎぬ。

國內火山多く、従つて交通不便で言語の如きも自然變通りもある、日本人は一萬九千人ほどあり五、六萬の支那人に次いで外國人としては多い方である。産物としては米、砂糖、椰子油、コブラ(椰子實) 玉蜀黍、煙草、マニラ麻、珈琲、コ、ア、木材等である。米は國內の需要を充たす程度で輸出はなく、むしろ若干輸入して居る。マニラ麻、椰子油、コブラ、煙草等は主なる輸出品で輸出の九割は之等農産品で占めて居る。在留日本人一萬九千余の内一萬二千五百人はダバオ州に在り、其八割三分は農林業で其又九割がマニラ麻栽培に従事して居る。ダバオのマニラ麻産額の七割五分は日本人が生産して居る、之等の生産は其七割は日本人の拂下又は租借地で生産されて居るが、其他の部分は比律賓人アメリカ人等の耕地で請負契約で生産して居るのである。近

時米、比人の日本人に對する感情が餘り面白くない所もあるが、總ては日本人の誠意と優秀な技術のある事を了解して呉れる日のある事と思はれる。

マニラ麻の外に椰子栽培に従事する者も可なりある、何れも世界的不況で値下がり

の爲苦しんで居るとは云ひ乍ら椰子の方は、いくらか樂な處がある。

比律賓には土地法の制限があり會社の株の六割一分以上が米、比人の所有でなければ官有地の拂下又は租借が出来ない、之れが出来ても一會社一、〇二四町歩以内と云ふ制限がある。又米、比人は十六町歩の農用地をホームステッドとして拂下げ得るけれども日本人は出来ない。其故新たに土地を手に入れようとすれば米、比人の私有地を買取る外ない、處が其私有地も澤山はないのである。だから、新たに行つて手取り早く仕事をしようとするれば會社の土地又は米、比人の土地で請負契約で栽培業をやるのであるが、此點目下の處多少問題になつて居る。

栽培事業の外に尙木材伐採製材の業に従事して居るもの六會社あり、日本に輸入さる

南洋材四十萬石の七割五分は之等により供給されて居るのである。又漁業に従事する者もマニラ五〇〇人ダバオに一二〇人ほど居り相當成績を上げて居る、マニラの北方一七〇余哩にあるバギオの高原避暑地には六〇戸ほどの邦人農家が蔬菜花卉の栽培をやり、地方に供給して居る。

マニラを主とし其他の地方にも雜貨商其他の商業的進出も逐次見る可きものがある殊に昨今の爲替安と支那人のボイコットにより、邦貨の賣行き好く邦商には好都合といふべきである。昨年からは北海道の貿易協會がマニラに出張所を設け北海道産海産物及び農産物等の賣擴めに努力し相當の業績を擧て居るやうである。

蘭領東印度

爪哇

地積一三一、六〇〇平方キロ人口密度一平方キロ三一五人で世界一である。然し島内火山多く従つて土地肥沃で加ふるに道路灌溉よく開け六、七千尺の高地に至るまで

開墾利用せられ、國土の六割までも開墾されて居るのであるから、よく之れだけの密度の人口を包擁し得る譯である。

外人にも土地の租借を許し外資の輸入に努め、一面に於ては巨資を惜まず科學的研究に鋭意し其結果を企業に應用したので、スマトラ等外領と共に農林企業が勃興したのである。産物の主なるものは甘蔗、茶、珈琲、キナ、コカ、カボック、シザル、ゴム、胡椒等である。

在留邦人約三、五〇〇人は商業に従事する者を主とし、農林工業漁業もやつて居る。我が對南貿易二億數千萬圓中五割五分は蘭領東印度の占むる處で其七割は爪哇であり、貿易上重要な地位にあるのである。近時之等貿易品を日本人の小賣仲買により、直接消費者生産者たる土民と取引する様になつた事は誠に喜ぶ可き現象であつて特に東部爪哇に於てよく發展して居り三百戸餘を算するとの事である。

農林企業としてはゴム、茶、珈琲、キナ、シザル、甘蔗等の栽培をなし日本人でも四

五の會社が當つて居る。漁業者はパタピヤに三五〇人ほどあり、パタピヤ及其附近の需要の一部を充たして居る。其他、倉庫業、交通業等に活躍して相當の業績を擧げて居り、又最近自轉車の修繕販賣業者を爪哇のパタピヤ、ストラバヤ、スマランを初め外領にも移出した處其成績は豫期以上に擧げたやうである。

スマトラ

地積四五萬平方キロで我が本州の二倍に當り一平方キロ一四人である。

國內火山多く、地味は概して肥沃である、東海岸地方が西海岸地方より地勢緩和且つ交通の便もよいので開拓遙かに進んで居る。

主なる産物としては煙草、ゴム、油椰子、マニラ麻、シザル、茶、珈琲、石油、木材等である。

在留邦人数は約一、六〇〇人で雜貨商雜業に従事する外農林企業に従事して居る。農林業としてはゴムを主とし油椰子、珈琲等である。木材業としては蘇島木材會社

がシンガポール寄りのランサン島で六萬町歩餘の伐採權を得て企業して居たのであるがポイコツト其他種々の故障の爲め目下會社整理中であり、遠からず陣容を立て直し事業を開始するに至る事と思ふ。

蘭領ボルネオ

ボルネオ大島の約三分の二を占め地積五三三、八〇〇平方キロ人口密度一平方キロ三人に過ぎぬ。

蘭領政府の開拓の手はスマトラを先きとし茲には行き届きかねて居る、主なる産物はゴム、石油、木材、胡椒、コブラ、ダマール、藤等である。

邦人の在留数は約八〇〇人で主として東南ボルネオの中心パンジャルマシ地方及び西部ボルネオの中心ボンチャナ地方にかたまつて居る、爪哇、スマトラでは會社組織の農園が主なるに反し此地方では、個人農園が數に於て主要部をなして居る、其面積に於ては固より會社組織の野村農園等が大半を占めておる。又ゴム再製工場も同社

が經營して相當の成績を擧げて居る、農園は大半ゴムで一部は胡椒である、石油はサ
ンクレラン地方に於て日本石油會社關係の者が經營して居る。

木材は舊來バリクバパンの雪本商會が經營して居る外最近には南洋林業がコンセツ
ションを得て伐採輸出を企て、居る。

セ レ ベ ス

地積一八八、〇〇〇平方キロで我が本州の八割位に當り一平方キロ一六人である。

國內山多く、兩端のマカツサー及びメナド市附近に自動車道路がある外南北を通ずる
貫通路なく、主なる交通は海上汽船による外なく而も定期船少く、旅行の不便少くな
い。此點は前記ボルネオも同様の憾みがある。

主なる産物としてはコブラ、ゴム、珈琲、籐、縞黒檀等である。

全島椰子に適し其生育旺盛である、コブラが輸出品の主要部をなす所以である。

モンゴンドウ州海拔二千尺の地に邦人の珈琲栽培に従事する者六、七あり、附近モ

ダヤ珈琲の名を以て聞ゆる處丈けに目下の不況を切り抜け得れば將來の業績見る可き
ものがあるであろう全島を通じ椰子珈琲を主とし大小の邦人農園四十餘を算する。

在留邦人五〇〇人、ゴム椰子の農林業及び雜業に従事する外漁業、海運業に於て相
當成績を擧げて居る、縞黒檀は我が國に輸入せられ刷子工業の原料となる。

蘭領ニウギニヤ

地積三九三、〇〇〇平方キロ日本内地より稍々大きいのである、横濱より僅々九日
達する。人口は三十三萬人餘で一平方キロ〇・八人即ち一人にも足らぬ、南洋各地中
も稀薄である。住民は温良であるから恐るべきものはない、印度歐人協會が蘭領政府
の援助を得て經營して居る和蘭人相の子の殖民地があるけれども業績の見る可きもの
がない。最近南洋興發會社がワニス原料となる樹脂ダマール採取のコンセツション
(地權)を得て操業に着手して居る。コ、ア、棉花等も試作の結果見込がある。
又森林には種々の建築材、家具材として良好なる木材豊富であり礦物は石油、石炭、

鐵、滿鐵等が発見されて居る。

英領馬來

馬來半島及び新嘉坡

地積一三三、〇〇〇平方キロで我が北海道九州を併したものに當り、一平方キロ二七人である。

國內には人口五十七萬四千人の新嘉坡、三十四萬二千人の彼南、十五萬人のコーラ、五萬七千人のイツポアの如き大都會あり、殊に新嘉坡は東西交通の要路に當り、貿易交通般振を極めて居る。

産物としては、ゴム、錫の二大産物を初めとし其外鐵、マンガン、木材、ダマール、籐、サゴ、タピオカ、香料、胡椒、漁業等である。

ゴムは世界産額の半分近くを占めて居り錫は世界産額の半分以上を占て居る。在留日本人六千餘人、商業雜業に従ふ外ゴム園、鐵鑛業に従事して居る。

日本人のゴム事業投資八千萬圓植付面積十二萬英反近の内主なる部分は茲にあるのである。昨今世界的不況の餘波を受けマニラ麻、茶其他の農産物同様ゴムも暴落して居るので、當業者は、從業員の整理其他、極力經費縮少により難局打開に腐心して居る。新嘉坡に於ける邦人漁業者千餘人、年産百五十萬弗に及び同地供給の三分の一を占めて居る。

鐵鑛業としては石原産業海運會社及日本産業之れに従事しジョホール州バトバハ、トレンガヌ州ケマ、ン、及ヅングンの三地方で稼業して居り、該地方産業中重きをなし一ヶ年産出する處百萬噸内外であつて我が八幡製鐵所需要高の半ば以上を占て居る。馬來半島の中央部コーランボ市に近くカメロン高原あり、近年自動車道路を通じ避暑地及び高地栽培の適地として今後の發展見る可きものがあるであらう。日本人で此處に於て蔬菜其他栽培をしようと計畫中のものもあるが馬來半島では蔬菜果物の輸入四百萬弗を超えて居るから此種事業は將來相當見込あるものと思はれる。

英領サラワク

地積一三萬平方キロ一平方キロ四・二人である。
 主たる産物は石油、コブラ、ゴム、トバ、胡椒、サゴ、バインアップル等である。
 在留邦人一四〇人、日沙商會ゴム園を初めゴム園を主として得る、此國は米を産出し得ても若子の輸入を見て居るので國王は國內生産により輸入防遏の志あり、邦人の米作に範を採らんとして居る。

英領ブルネイ

地積四、五〇〇平方キロ我が九州より稍々小さい。石油及チウイングガムの原料たるゼルトンゴム其他の林産物を主産とする。

英領北ボルネオ

地積七五、五〇〇平方キロ本州の三分の一に足らぬ、一平方キロ四人弱である。在留邦人約四〇〇人其半は近くを漁業者が占めて居る。

産物としては、ゴム、コブラ、籐、ダマール、木材、煙草等であり、近くはマニラ麻をも産出する様になつた。

日本産業會社並びに三菱が夫々ゴム及椰子の大規模栽培をなし目下一時休止中なるも木材伐採業をも營み、又ボルネオ水産公司是鯨、鮪の漁獲をなし其製造に係る鯨節を日本に輸入して居り逐年業績の見る可きものある、他面椰子を初めとしマニラ麻蔬菜等に個人企業をなすもの少なからずタワオ港に近く相隣接して成績を擧げて居る。

暹羅

暹羅は南洋中、唯一の獨立國である、地積は五一八、〇〇〇平方キロで我が本州四國を加へたもの、二倍に當つて居る、人口一一、五〇〇、〇〇〇人で一平方キロ二十二人の密度である、總人口の一刻に近い九十餘萬人が首府磐谷に在り人口分布から言ふて頭重の國である。

産物としては米を主とし總輸出額二億四千萬圓の内二億圓が米である。往昔棉花、

甘蔗等も栽培盛に行はれたそうであるが今や殆んど見る可きものなく他國の輸入に俟つ次第である。

其他、チーク、ゴム、唐木等の輸出がある。

在留邦人三〇九人で曾て山田長政の故事を残す我國との關係淺からぬ當國としては餘りに振はぬのである。

企業としては大谷洋行の唐木、江畑氏のツダ材伐採輸出を企つる外、是松氏の百七十町歩の米田經營を擧げ得るが米田は米價暴落により、創業勿々打撃を蒙り、今は土人小作に委して僅かに事業を維持しておる状態である。

通商貿易に於ては日露戦後二十萬圓の輸入に過ぎざりしもの今や千二—三百萬圓の輸入を見るに至り、三井物産の如き此方面に相當業績をあげて居る、只一般南洋諸地方と同じく、輸入品入港の際の解人夫より、消費者への配給に當る商業網は支那人の掌握する處である。

佛領印度支那

地積六七萬平方キロで我日本全土に比す可きである。一平方キロ三一人に當り、北、東京より南、西貢に至るまで比較的よく開けて居る。只ラオス及びカムボヂヤが奥地に在つて開拓稍々おくれ居る。

當國はビルマ、暹羅と共に米の三大輸出國の一つである、國內到る處水田よく開け殊に西貢の附近は一望千里の沃野が米の栽培に充てられて居る。

従つて産物は米を主とし玉蜀黍其他の農産物、木材、石炭等である。

在留邦人三〇七人で之れを昔御朱印船時代にハイフオン、ツーラン等の港に一萬を越ゆる邦人が活躍して居つたと云ふのに思ひ合せれば感慨無量と云ふ可である。

畢竟佛國が自國民を保護するに急で一九二三年以來外人の土地所有は制限せられ又貿易も高率關稅賦課により産業貿易共に其發展を沮まれた爲である。それでも數十軒の邦人貿易業者は他日協定稅率の設定せらる可きを期待しつつ通商をつゞけて居つた

が昭和四年七月より實施の特別税率制定により他國に比し四倍大の高率税を課せられるに至り最後の望みも断たれるに至つたのである。

然るに近隣諸國との交易情勢の變化と一般人の輿論に刺戟せられ一面當國より我國に輸入せらるゝ鴻基炭に報復關税を課せらる可ことの噂に動かされ、漸く一昨年以來誠意ある解決協定案を持ち出すに至り、昨年五月十三日巴里に於て關税の暫定取極めが調印せられ八月二十六日以來實施し本邦品進出の可能性が漸く擴大されるに至つたのである。

渡航準備

旅券

南洋何れの地に行くにも旅券の携行を必要とする。之れには府縣廳を経て旅券下付願を提出す可きである。

旅券下付を受けたる上は當該國領事館に就き旅券の査證を受けねばならぬ。

尤も蘭領東印度及び佛領印度支那に就ては此査證を必要とせぬ、然し蘭領東印度に入るには一人百五十盾の入國税を拂はねばならぬ。(家族の場合は戸主丈け)

健康診断證明書

比律賓ではトラホーム患者及十二脂腸虫保有者の入國を許さぬので其患なき事の健康診断書の携行を必要とする。

服装

洋服を便利とする、寢巻以外には日本服を必要としなない、何れも夏服丈で充分である。

携帶品

銃器刀劍等は通關困難故携行せぬがよろしい、コカイン阿片等の藥品も同様である。封書の携行は脱税を以て律せらるゝ故注意す可きである。

寫真機携帶の際は其撮影の地點が要塞地帯内であるか何うかを確めた後でなければ

用のぬ事である。

以上は各國共同様であるが比律賓では稻葉の輸入を禁止して居る故、葉製品や荷造りの蓆等、携行してはいけない。

言語風習

早く其國の言語に通ずる様心掛く可きである、又其國の風習を尊重する様努めねばならぬ。

渡航費

旅券下付及び査證料で十圓餘汽船賃は三等室で六、七十圓あれば足りる。

長崎移住教養所

外國渡航許可又は旅券下付を受けた南洋渡航者の爲めに長崎に移住教養所が設立せられ、出帆迄の一週間前後を茲で無料で宿泊出来る上、其間渡航に必要な教養を受け又健康診断及び診療を受け得るの便宜がある。

終

